

平成27年4月30日
近畿総合通信局平成26年度補正予算「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」
に係る採択候補の決定

総務省は、平成26年度補正予算「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」に係る提案について、外部有識者による評価を踏まえて採択候補を決定しましたので、お知らせします。
近畿総合通信局（局長：奥 英之（おく ひでゆき））管内では、兵庫県佐用町を採択候補として決定しています。

1 事業の概要

総務省では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、ICTの一層の利活用により、農業、医療、教育、防災など各分野で地域が直面する課題解決に貢献し、各地域の産業や行政の効率化、生産性向上を通じて地域の活性化に資することを目的として、以下のいずれかの要件を満たす事業を実施します。

- （1） これまで全国27箇所において実施してきたICTを活用した街づくりの成果事例を活用し、これら成果事例において構築したシステムの「横展開」や「自立的」「持続的」な推進体制の整備等を通じて、農業、医療、教育、防災など各分野で地域が直面する課題解決に貢献するとともに、地域の活性化に資するもの。
- （2） ICTの利活用を推進し、企業活動変革による地域の業務の効率化や、地域拠点の活用などを通じて、地域の産業の効率化や生産性向上に貢献するとともに、地域の活性化に資するもの。

2 決定内容

平成27年2月25日（水）から同年3月20日（金）まで公募を行ったところ、20件の提案がありました。今般、別紙1の構成員により構成される「ICTスマートタウンプロジェクト会議」における評価結果を踏まえ、全国で13件、近畿管内では兵庫県佐用町を採択候補として決定しました。兵庫県佐用町の事業名等は下記のとおりです。

代表提案団体	事業名	事業の概要
兵庫県佐用町	森林ICTプラットフォームを活用した地域活性化プロジェクト	別紙2

3 関係報道資料等

- ・平成26年度補正予算「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」にかかる採択候補の決定（平成27年4月30日発表）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000152.html
- ・ICT街づくり推進会議
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/ict-town/index.html
- ・平成26年度補正予算 ICTまち・ひと・しごと創生推進事業に係る提案の公募
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000147.html
- ・平成25年度補正予算 ICT街づくり推進事業に係る委託先候補の決定
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000139.html
- ・平成25年度 ICT街づくり推進事業に係る委託先候補の決定
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000113.html
- ・平成24年度補正予算 ICT街づくり推進事業に係る委託先候補の決定
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000099.html
- ・平成24年度 ICT街づくり推進事業に係る委託先候補の決定
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000070.html

連絡先：情報通信部 情報通信振興課 担当：松山、長野 電話：06-6942-8520
--

「ICTスマートタウンプロジェクト会議」構成員

(敬称略、50音順)

氏 名	役 職 等
(座長) おか もとゆき 岡 素之	住友商事株式会社相談役
きたおおじ のぶさと 北大路 信郷	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授
こみやま ひろし 小宮山 宏	株式会社三菱総合研究所理事長
すどう おきむ 須藤 修	東京大学大学院情報学環教授
とくだ ひでゆき 徳田 英幸	慶應義塾大学環境情報学部／大学院 政策・メディア研究科委員長兼教授
むらかみ てるやす 村上 輝康	産業戦略研究所代表

実施団体

北海道中川町、兵庫県佐用町、鳥取県三朝町

実施地域

北海道中川町、兵庫県佐用町、鳥取県三朝町

事業概要

ICTを活用した森林資源量の効率的な把握（岡山県真庭市）の横展開に向けて、複数市町村が連携して、真庭市モデルの全国展開に向けた森林ICTプラットフォームを導入し、森林資源の活用を通じた地方創生の実現を図る。

<真庭モデル普及展開のこれまでの取組>

【真庭モデルの形成】

- ✓地域活性化に高い効果を有する真庭モデルを形成し、中国地方（岡山県北部3市町村）を対象に普及展開中。導入効果があることを確認済。
- ✓林野庁のICT関連事業と連携し、検討中の森林クラウド標準仕様を実装。森林行政に即したデータ整備が可能であることを実証済み。

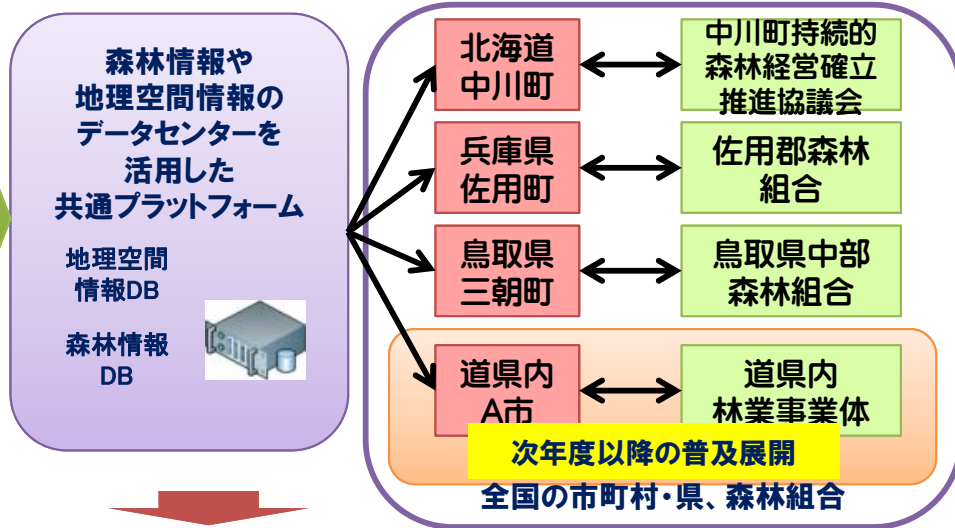
全体イメージ



<全国への展開>

【真庭モデルに基づく森林ICTプラットフォームの全国展開】

- ✓岡山県北部を超え北海道、兵庫県、鳥取県等を対象に全国展開に着手。
- ✓森林構成の違い、サプライチェーンも含めたICT導入、地籍情報の有無等、今後のPF普及に向けた周辺環境の違いを踏まえたモデル構築に寄与。



【地域の活性化、雇用機会の創出】

- ✓森林情報の共有化・統括に伴い、産業活性化に取り組む。